

医療的ケア児等の災害への備え ver.2

～よくある質問～



発行日：令和6年3月11日

発行：静岡市医療的ケア児等支援協議会

(案)

医療的ケア児等の災害への備え よくある質問



1. はじめに

医療的ケア児等の災害への備えを考えるチラシも、おかげさまで、第2弾となりました。

令和4年の台風15号被害をきっかけに、市内の支援者が知恵を出し合いながら、災害に備えた物品等の準備、個別の避難計画の策定、情報共有ネットワークの強化など、できることから少しずつ進めているところです。災害対策を行うということは、平時からの支援をより充実させることに他なりません。ぜひ皆様と一緒に、よりよい今日明日の生活を作っていきたいと思っています。

静岡済生会総合病院 小児科医 塩田 勉

2. よくある質問 静岡済生会総合病院 小児科医 塩田 勉

Q1. 医療機器の電源確保は何を準備したらよいですか？ 発電機を購入した方がよいですか？

A1. 緊急時の電源確保の方法としては、以下のようなものがあります。

① 医療機器自体の内部バッテリー&備え付けの外部バッテリー

もし外部バッテリーを複数個準備できるのであれば、可能な限り準備しておきましょう。

② UPS(無停電装置)

③ 蓄電池

④ 自家用発電機

発電機を人工呼吸器などの精密機械に使用することは一般には推奨されていませんが、購入を検討する際は、医療機器メーカーに確認してください。

⑤ 自家用車から

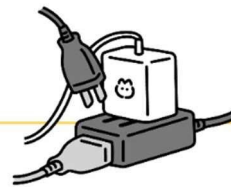
シガーソケット、もしくはUSB端子などは、標準装備している車も多いです。

100Vコンセントが車内があれば、それも利用可能です。

V2H対応の電気自動車とV2H機器があれば利用可能ですが、多額の費用がかかります。

※静岡市では、発動発電機人口呼吸器用外部バッテリー(限度額20万円)の購入助成、地震防災用具(食品・水を除く)の購入助成(限度額5万円)があるので、発電機等の利用も検討できます。

Q2. 停電時、避難所に行けば電源が確保できますか？



A2. 停電発生時には、一般的に避難所も停電しています。

太陽光発電や蓄電装置がある小中学校もありますが、停電発生時には、一般的に避難所も停電しています。福祉避難所では自家発電があるところがありますが、用途が限られるので、事前に申し込んでおくなどが必要でしょう。

Q3. 断水時、吸引や注入などのケア用品を洗うための水は確保できますか？



A3. 給水所などで生活水の確保を検討しましょう。

生活水の確保も難しければ、飲料水を洗浄に使わざるを得ない状況もあるかもしれません。ただし、例えばイルリガートルはビニール袋を使えば洗浄しなくても繰り返し使えます。物品を洗う時もペットボトルの先にじょうろをつければ、節水できます。そうした工夫も大切です。また、全て普段と同じように洗浄する必要はありません。洗浄綿や消毒綿の予備が十分にあれば、吸引や導尿はそれに対応できます。カテーテルは使い捨てに対応にすることも一つです。普段から十分に物品を備えておくことも大切です。

Q4. 専用の薬は、避難所にありますか？



A4. 普段服用している薬を処方してもらうことは基本的には難しいです。

ただし、お薬手帳、もしくは常用薬の説明書などを持っている、時間がかかるかもしれませんが、対応はしてくれるかもしれません。いずれにしても、災害時のために、自宅に1~2週間分以上は薬の余裕を持っておくといでしょう。

Q5. 食料品として、ペースト食や経腸栄養剤などは、どこかで調達できますか？



A5. 避難所などには、そうした備蓄はありません。通所施設や学校に予備を預けてあれば使えるかもしれません。やはり自助として、それなりの備蓄を持っておくことが大切です。少なくとも1~2週間分以上は準備しておきましょう。

Q6. 保護者が負傷して医療的ケアができない場合、ケアを誰に頼めばいいですか？

A6. 避難所の場合は、市の避難所担当にその旨を伝え、看護師や経験のある方を探しましょう。在宅の場合は、普段使っている事業所や学校、訪問看護ステーション等に、まずは助けを求めましょう。そこでの対応が難しければ、避難所や区役所、ボランティアセンターなどに困った状況をぜひ伝えてください。

Q7. 被災地外から支援物資が来ると聞いていますが、どうしたら届けてもらえますか？



A7. 医療的ケアのある方の特殊な物資を、関係機関や行政がどう仕分けて配布するか、厳密な体制はまだ構築できていません。しかし、普段利用している事業所や学校、訪問看護ステーション等に連絡を取り合うことで、物資の情報も入ってくるかもしれません。どのような物資が足りなくてほしいのか、ぜひ関係機関に伝えていくことが大切です。

3. 災害時に備えて準備しておくもの（季節編）



冬

アルミブランケット、使い捨てカイロ、カセットコンロ、カセットガスストーブ
湯たんぽ、発熱剤

夏

虫よけスプレー、市販の虫さされ用塗り薬、さっぱりシート（顔・体用）、うちわ

～季節に関係なくあったほうが良いもの～

新聞紙（服の下に入れて防寒、簡易スリッパも作れる）、乾電池、

ペットボトルの水、市販のワセリン、歯磨きシート、ホイッスル、乾電池

静岡県立大学 看護学部 小児看護学領域 准教授 鈴木和香子

4. お役立ち HP



静岡県 防災ポータル 静岡県公式ホームページ

https://d10000000hwakeaw.my.salesforce-sites.com/portal/sns_vf_Portal

災害時の小児に対する支援において参考となる資料集 公共団体法人 日本小児科学会

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=202

しずおかサポートファイル 静岡県公式ホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shogaifukushi/kyoseishakai/1003013/index.html>

▼HP



～アンケートのご協力をお願いします～
<https://logofrom.jp/form/79j2/408799>



5. コラム



～平時からネットワークと繋がっておくことが大切です～

特定非営利活動法人 Clover 代表理事 影山 陽

昨今、地震や台風などの災害に際に、自力で避難することが困難な医療的ケアの必要な方々の支援について検討されています。

一方、ご家庭においても、平時より災害を想定して準備をしたり地域の支援を受けられるような体制を整えておくことが大切です。

災害には、地震、大雨、土砂災害など、様々なパターンがあり、災害発生時のお住まいの地域の被害やご家庭での準備の状況から、「避難すべきか、とどまるべきか」「どこへ、どうやって、何を持って避難すべきか」などの対応が大きく変わってきます。

昨年 9 月に発生した、豪雨被害では床上浸水や道路の冠水、土砂災害等が発生し、電気や水のライフラインも停止しました。市内の被災状況が見えてきたのも 24 時間以上経ってからという結果でした。

当時、私の施設も停電していたため利用者ご家族との連絡手段として、発電機を使用し、施設内の通信機器を復旧させて事業所用公式 LINE で安否確認をした経緯があります。翌日以降、ライフラインが停止したままの地域の方へ、当施設の利用者以外の方へ水を届けたり、他施設の方への入浴の提供をさせていただくことができました。

今後、更に甚大な被害を及ぼす災害が発生する懸念もありうることから、検討課題として、先ず情報伝達の徹底や支援者・当事者のネットワークの構築は急務だと考えます。そこで、在宅避難が困難な場合の対応として、通所施設を福祉避難所のサテライト施設にして事業所ネットワークを作っていくことを提案します。医療的ケアのある方々は医薬品や医療物品等の必要性から、一般の避難所では機能を果たせないからです。

また、ご家族は、静岡市重症心身障害児(者)を守る会や静岡県医療的ケアライン(アイライン)等の当事者ネットワークと繋がっておくことも重要です。有事の際には、個々の家庭で被災状況も違えば、必要な支援も違います。ご家庭で対応できることも限られます。物資が足りない、避難が必要など、当事者ネットワークに繋がっておくことで、支援に結び付いていくことになりますので是非ともお願いいたします。

災害が発生すれば、支援者(医療、福祉、教育、行政)も当事者も誰もが被災者となりえます。地域の災害支援を機能させるためには、ネットワークを作っていきましょう。

災害時に備えて準備しておくもの(1週間分)



	品目	備蓄数	メモ
人工呼吸器・酸素関連	呼吸器回路一式		
	アンビューバッグ		
	予備気管カニューレ		
	Y字ガーゼ		
	延長チューブ		
	酸素ボンベ、ボンベカート		
	人工鼻		
	加温加湿器		
	モニター		
吸引	吸引器(手動・足踏み)		
	吸引チューブ		
経管栄養・胃瘻関係	経管栄養剤		
	注入用ボトル		
	栄養チューブ		
	胃ろうチューブ		
	延長チューブ		
	シリンジ		
医療材料等	滅菌精製水		
	蒸留水		
	ガーゼ		
	アルコール綿		
	固定用テープ		
非常用電源	外部バッテリー		
	延長コード		
	シガーソケット対応インバーター		
	発電機		
	蓄電池		
	UPS(無停電電源装置)		



~メモ~



